

高金利通貨ファンド

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、新興国を中心とする世界の高金利通貨建債券に、主としてグローバル高金利通貨マザーファンドを通じて分散投資を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年9月10日～2020年3月9日

第137期	決算日：2019年10月8日	
第138期	決算日：2019年11月8日	
第139期	決算日：2019年12月9日	
第140期	決算日：2020年1月8日	
第141期	決算日：2020年2月10日	
第142期	決算日：2020年3月9日	
第142期末 (2020年3月9日)	基準価額	3,774円
	純資産総額	4,022百万円
第137期～ 第142期	騰落率	△5.8%
	分配金合計	120円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

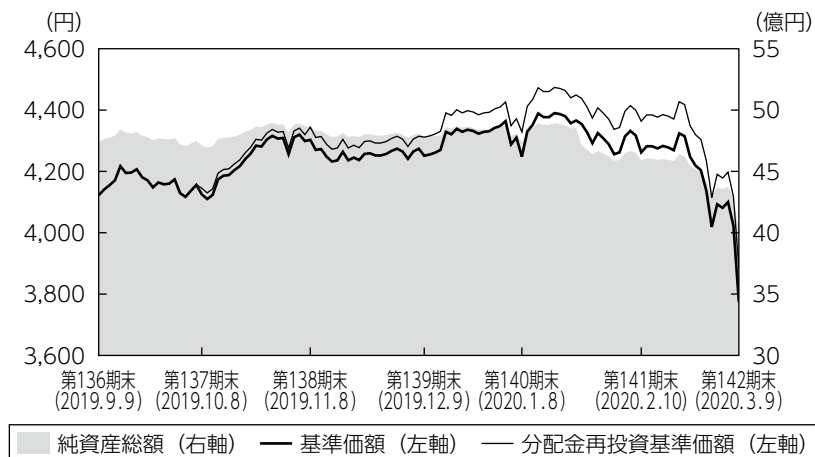
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第137期首： 4,122円
 第142期末： 3,774円
 (既払分配金120円)
 騰落率： △5.8%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

投資国の中央銀行が緩和的な金融政策を維持する中、債券利回りが低下（価格は上昇）したことなどは基準価額の上昇要因となりました。一方で、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念や、OPEC（石油輸出国機構）とロシアによる協調減産の枠組み崩壊による原油価格の急落などを受けて市場のリスク許容度が低下する中、投資国の通貨が対円で下落したことなどは基準価額の下落要因となりました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第137期～第142期 (2019年9月10日 ～2020年3月9日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	23円	
(投信会社)	(10)	(0.245)	
(販売会社)	(12)	(0.272)	
(受託会社)	(1)	(0.026)	
(b) その他費用	0	0.009	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(保管費用)	(0)	(0.008)	
(監査費用)	(0)	(0.001)	
合計	24	0.554	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

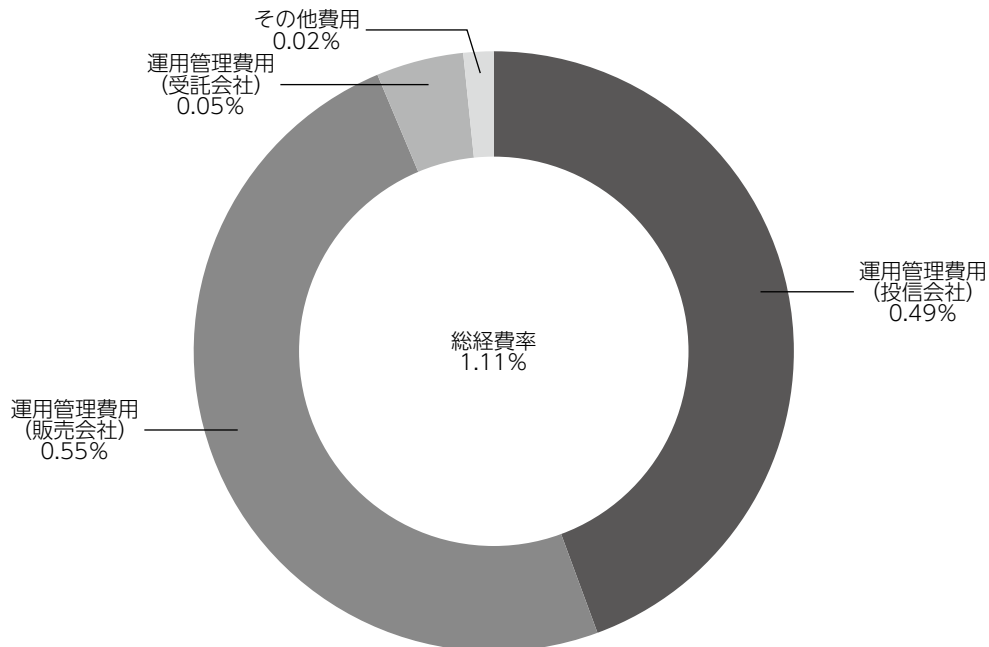
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.11%です。



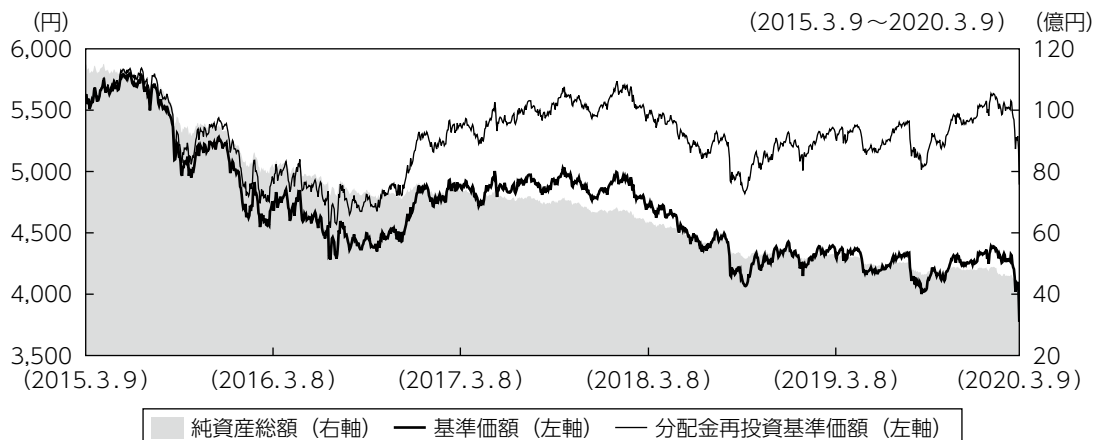
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2015年3月9日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2015年3月9日 期首	2016年3月8日 決算日	2017年3月8日 決算日	2018年3月8日 決算日	2019年3月8日 決算日	2020年3月9日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	5,623	4,715	4,890	4,713	4,305	3,774
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	240	240	240	240	240
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△12.2	9.3	1.3	△3.5	△7.2
純資産総額	(百万円)	11,492	8,176	7,378	6,334	5,192	4,022

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

投資環境

債券市場では、世界景気の鈍化懸念などを背景にF R B（米連邦準備理事会）が政策金利を引き下げるなど、主要国中央銀行は緩和的な金融政策を維持したことなどから、世界的に債券市場には金利低下（価格上昇）圧力がかかりました。投資国でも政策金利を引き下げる国が相次いだことなどから、債券利回りは全般に低下しました。

為替市場では、米中が部分合意に達するとの期待や英国のE U離脱に対しても秩序だったものになると思惑から投資国の通貨は堅調な推移を見せたものの、当作成期間末にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念やO P E Cとロシアによる協調減産の枠組みが崩壊したことで原油価格も急落したことなどを背景に、市場のリスク許容度が急速に低下したことなどから、投資国の通貨は下落に転じました。

ポートフォリオについて

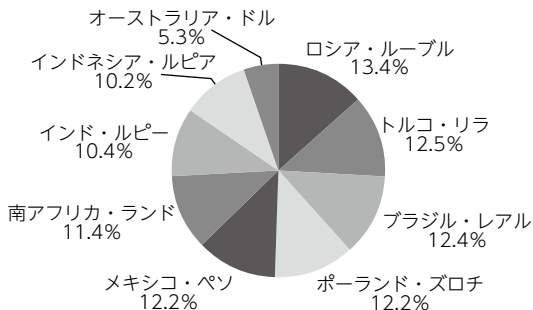
●当ファンド

当ファンドの主要投資対象である、グローバル高金利通貨マザーファンドの組入比率を作成期を通じて高位に維持しました。

●グローバル高金利通貨マザーファンド

マザーファンドの運用では、新興国を中心とする高金利通貨建ての国際機関債を中心に信用力の高い公社債の高位組入れを維持しました。通貨配分に関しては、北米・中南米、アジア・オセアニア、中東・アフリカ、欧州の4地域についてそれぞれ25%程度とし、市場動向等を睨みながら適宜比率の調整を行いました。

グローバル高金利通貨マザーファンドの債券通貨別構成比（当作成期末）



※比率は、組入債券全体に対する評価額の割合です。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第137期	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期
	2019年9月10日 ~2019年10月8日	2019年10月9日 ~2019年11月8日	2019年11月9日 ~2019年12月9日	2019年12月10日 ~2020年1月8日	2020年1月9日 ~2020年2月10日	2020年2月11日 ~2020年3月9日
当期分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
対基準価額比率	0.48%	0.46%	0.47%	0.47%	0.47%	0.53%
当期の収益	20円	20円	20円	20円	20円	20円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	588円	597円	601円	604円	611円	611円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

当ファンドの運用方針については、引き続き当ファンドの主要投資対象である、グローバル高金利通貨マザーファンドを通じて実質的な運用を行います。今後もマザーファンドの組入比率を高位に維持します。

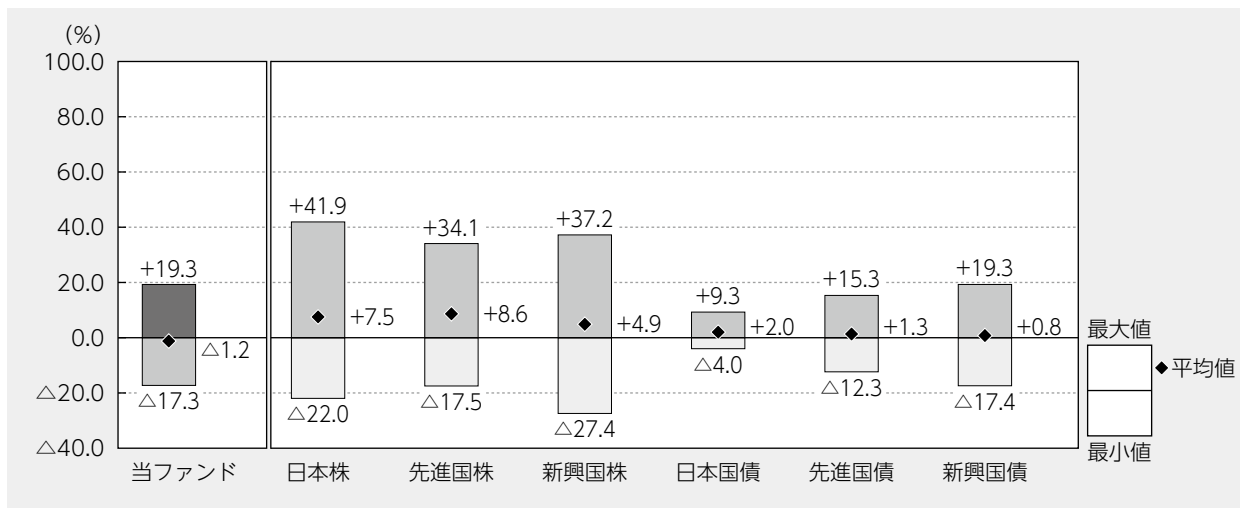
●グローバル高金利通貨マザーファンド

新興国債券・為替市場は、世界的な経済成長率の低下が懸念されることなどから、相対的にリスク要因の少ない新興国を中心に投資妙味があると見ています。また、米国や欧州圏、中国の経済動向およびそれに伴う金融政策に影響を受けやすい展開を想定しています。今後とも組入対象国を中心とした新興国の経済情勢や投資環境の変化に留意しつつ、相対的にファンダメンタルズの良好な国を中心に機動的な運用を行います。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	原則、無期限です。	
運用方針	グローバル高金利通貨マザーファンド受益証券を主要投資対象として、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主要投資対象	高金利通貨ファンド	グローバル高金利通貨マザーファンド受益証券。
	グローバル高金利通貨マザーファンド	世界各国の公社債。
運用方法	主としてグローバル高金利通貨マザーファンドへの投資を通じて、国際機関債や政府機関債、州政府債を中心とする信用力の高い公社債に実質的に分散投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。公社債の実質組入比率は、原則として高位を保ちます。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を基礎として安定した分配を行うことを目標に決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。上記にかかわらず、上記にかかる分配金額のほか、分配対象額の範囲内で基準価額水準や市況動向等を勘案して委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2015年3月～2020年2月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2020年3月9日現在）

◆組入ファンド等

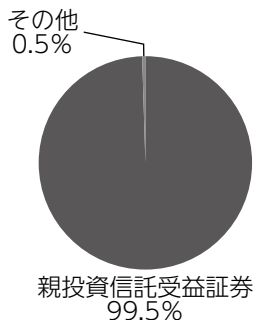
（組入ファンド数：1ファンド）

	第142期末
	2020年3月9日
グローバル高金利通貨マザーファンド	99.5%
その他	0.5

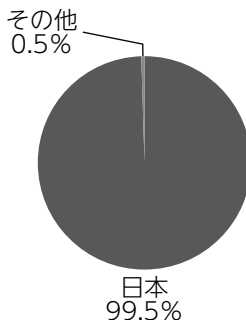
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

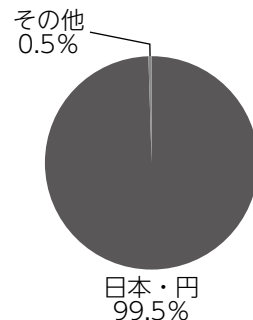
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

（注3）国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

純資産等

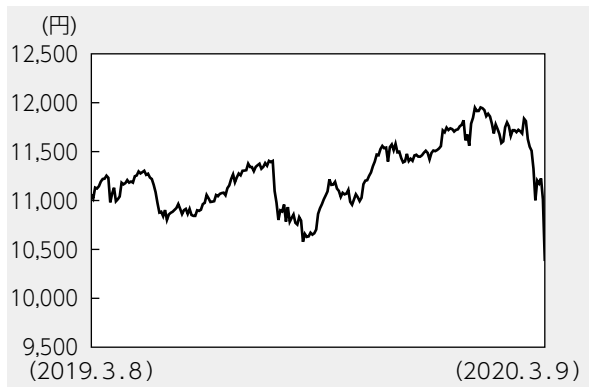
項目	第137期末	第138期末	第139期末	第140期末	第141期末	第142期末
	2019年10月8日	2019年11月8日	2019年12月9日	2020年1月8日	2020年2月10日	2020年3月9日
純資産総額	4,710,678,909円	4,869,037,714円	4,783,280,784円	4,738,253,961円	4,586,498,540円	4,022,087,916円
受益権総口数	11,419,691,713口	11,316,014,439口	11,251,760,758口	11,154,909,837口	10,762,308,385口	10,657,364,200口
1万口当たり基準価額	4,125円	4,303円	4,251円	4,248円	4,262円	3,774円

（注）当作成期間（第137期～第142期）中における追加設定元本額は29,297,881円、同解約元本額は875,263,376円です。

組入ファンドの概要

【グローバル高金利通貨マザーファンド】（計算期間 2019年3月9日～2020年3月9日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

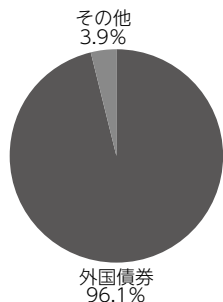
銘柄名	通貨	比率
IFC 8.25 01/30/23	ブラジル・レアル	9.6%
EIB 2.25 05/25/21	ポーランド・ズロチ	7.1
EIB 8.375 07/29/22	南アフリカ・ランド	7.1
EIB 4.75 01/19/21	メキシコ・ペソ	6.9
ASIAN DEV BANK 5.9 12/20/22	インド・ルピー	6.8
IFC 6.375 04/11/22	ロシア・ルーブル	6.4
EBRD 27.5 09/18/20	トルコ・リラ	4.2
EIB 9.0 03/31/21	南アフリカ・ランド	3.9
EIB 2.8 01/15/21	オーストラリア・ドル	3.6
ASIAN DEV BANK 7.0 03/14/22	ロシア・ルーブル	3.6
組入銘柄数	27銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

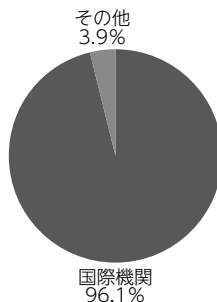
項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	2円 (2) (0)	0.015% (0.015) (0.000)
合計	2	0.015

期中の平均基準価額は11,262円です。

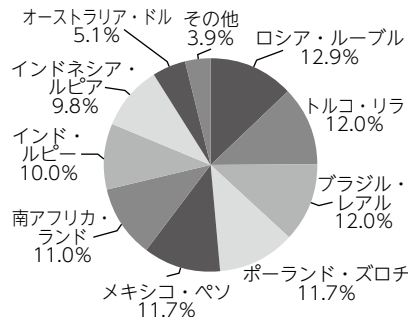
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（株東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。